

## 開催要項（抜粋）

1. 目的 / 生涯スポーツ振興の一環として、年輪を重ねても更に活発にソフトバレーボールを楽しんでいる世代の愛好者に、広域の活動の機会を提供して自身の健康を表現するとともに、参加者相互の親善を図り、もってソフトバレーボールの普及・発展に寄与することを目的とする。

9. 日程 / 11月14日（木） 11時30分～12時00分 代表者会議  
12時30分～13時00分 開会式  
13時00分～17時00分 交流試合  
19時00分～21時00分 懇親会  
11月15日（金） 9時00分～13時00分 交流試合  
13時30分～14時30分 閉会式

※日程は参加状況及び進行状況により変更することがあります。

### 10. 種目

#### (1) ミラクルゴールドの部（継続種目）

競技者4名は、性別を問わずウルトラゴールド参加で7チームとします。

（年齢基準日；昭和25年4月1日以前生まれの人）

#### (2) ウルトラゴールドの部

競技者4名は、性別を問わず75歳以上とします。個人参加も可能です。

（年齢基準日；昭和25年4月1日以前生まれの人）

#### (3) スーパーゴールドの部

競技者4名は、70歳以上の男女各2名とします。ただし、当分の間特例として男性1名・女性3名または男性3名・女性1名で競技することを認めます。

（年齢基準日；昭和30年4月1日以前生れの人）

#### (3) ハイゴールドの部

競技者4名は、65歳以上の男女各2名とします。

（年齢基準日；昭和35年4月1日以前生まれの人）

#### (4) ゴールドの部

競技者4名は、60歳以上の男女各2名とします。

（年齢基準日；昭和40年4月1日以前生まれの人）

### 11. 参加資格

(1) 本フェスティバルに参加できる人は、健康に自信を持ち、日常の身体行動が自立しており、他人からの援助を必要としない人であるとともに、本開催要項を遵守し強調して行動できることを基本とします。

(2) 参加チームは、令和6年度（公財）日本バレーボール協会に加盟するとともに、参加者は加盟団体で個人登録を完了していることを原則とします。

(4) チームの構成員には、審判員としてソフトバレーボールリーダー、ソフトバレーボールアクティブリーダーまたはソフトバレーボールマスターリーダーの資格者を含めてください。

(4) 参加者の年齢はチーム責任に在る申告としますので、偽りのないよう留意して下さい。  
さい。

(5) 参加者は、本開催要項を順守するとともに、協調して行動できる人であることとします。

(6) チーム名は8文字以内としてください。

### 12. チーム構成

(1) チームの構成は、監督並びに各種目に適合する性別及び年齢基準以上の選手とします。ただし、監督については、競技に参加しない場合は年齢を問いません。

- (2) チームの構成は、監督1名、選手は次の基準の8名以内とします。
- (3) 選手の年齢は、令和7年4月1日現在を基準とします。
- (4) チームは、相互審判制の適正実施及びフェスティバル期間中の不測の事態に備えて、6名以上のチーム編成に努めて参加してください。

### 13. 競技規則

- (1) 日本バレーボール協会制定の「2024年度版ソフトバレーボール競技規則」及び本フェスティバルの開催要項を適用します。
- (2) コート内での選手の位置は、フリーポジション制とし、サイドアウト時（サービス権移行時）のローテーションの義務はありません。（ローテーションしても反則になりません。）
- (3) 各チームは、試合開始前にサービスシート（主催者準備）を提出しなければなりません。
- (4) 試合中のサービスは、サービスシートに記入された順に行うこととし、順番を間違えた場合はサービス順の誤りの反則となります。
- (5) アウトオブポジションの反則は適用しません。
- (6) 競技者交代の特例適用において、男性負傷等の場合に女性との交代も認めます。
- (7) 特別規則を設ける場合は、プログラムに掲載し代表者会議で説明する。

### 14. 競技方法

- (1) 競技の形式は、リーグ戦方式とし、各種目とも過去の競技成績を基準に参加チーム数に応じて組分けして、1日2～3試合（二日間で4～6試合）の交流試合とします。
- (2) 試合の運営は、主審、副審、線審、点示員及び記録員のすべてをプログラムに掲載指名されたチームが担当します。このうち主審は、ソフトバレーボールマスターリーダーまたはリーダーの資格者が担当してください。
- (3) 試合は、タイムスケジュールを基準に追い込み方式により進めます。
- (4) 組合せは主管者の責任抽選とし、代表者会議で発表します。

### 15. 使用球

試合での使用球は、日本バレーボール協会検定のソフトバレーボール（重さ 200～220g、円周 77～79 cm）で（株）モルテン製を使用します。

（開催要項でモルテン製としたため。ただ、次年度よりミカサ・モルテン可とします。）

### 16. 表彰

- (1) 参加者全員にお土産を準備します。
- (2) 各種目の成績優秀チームを表彰し、記念品を贈呈します。
- (3) 10回以上の連続参加者に生涯現役大賞を贈呈します。また、節目参加者（5回毎）に生涯現役賞等を贈呈します。
- (4) 各種特別賞を準備します。

### 17. 懇親会

- (1) 懇親会は、フェスティバル1日目（11月14日・木曜日）の19時から夕食会を兼ねて開催します。
- (2) 会場は、ホテルサンルート徳山宴会場（周南市築港町）となります。
- (3) 懇親会の会場への移動は、ホテルルートイン徳山駅前、東横イン徳山新幹線口、東横イン徳山北口、に宿泊の皆さんは徒歩でお願いします。
- (4) 懇親会では、交流促進を目的として「お国自慢タイム」を設けますので、多数のご参加をお願いします。

# 競技及び総務細則

## 1. 競技上の確認

競技の運営は、本年度競技規則及び本フェスティバルの開催要項に則り進行します。

### (1) 競技日程及び競技開始時刻について

①競技の日程及び試合順序は、プログラム記載のとおりに行います。

各チームとも常に試合参加または審判担当となりますのでご協力をお願いします。

②第1日目の試合開始は、開会式終了後、試合会場の準備状況を見てお知らせします。

第2日目は、午前9時を開始時刻とし、1日目・2日目ともゆっくりした追い込み方式（前競技のチームがコートから退場後、関係者の体調をみてプロトコールを開始）とします。

ただし、試合が連続する場合は5～10分程度の休憩を設定してください。

### (2) 競技方法

①ミラクルゴールドの部は、1日目だけの開催とし、ウルトラゴールド参加で7チームを編成しリンク戦で2試合を行います。

②ウルトラゴールドの部は、2日目だけの開催とし、7チームでのリンク戦で2試合行います。

③スーパーゴールドの部は、参加11チームでの1日3試合を基本とし、変則リーグ戦を2日間（6試合）で行います。

④ハイゴールドの部は、参加9チームでの1日3試合を基本とし、変則リーグ戦を2日間（6試合）で行います。

⑤ゴールドの部は、参加13チームでの1日3試合を基本とし、変則リーグ戦を2日間（6試合）で行います。

尚、スーパーゴールドの部、ハイゴールドの部及びゴールドの部は、参加チーム数が奇数となっていますので、1日目に4試合と2試合を行うチームが生じます。

該当するチームはご協力をお願いします。

### (3) 順位決定方法

①各チームの成績は、採点法により50%以上の勝率を得たチームを優秀チームとします。

ただし、採点が同点の場合は、セット率、ポイント率の順により優秀チームを過半数までとします。

②採点により優秀チームが過半数に達しなかった場合は、過半数になるまで採点を引き下げることもあります。

### (4) チームの構成について

①開催要項に示しているチーム編成とします。

②競技中コート内の男女数は次の通りとします。

i) ミラクルゴールドの部及びウルトラゴールドの部は、性別を問いません。

ii) スーパーゴールドの部は、異性1名以上を含んだ4名が入っていればよいこととします。

また、競技者の交代は、女性1名以上のコート内編成が満たされていれば男女間の交代を認めます。

iii) ハイゴールドの部とゴールドの部は、男女各2名の4名が入っていなければなりません。

また、競技者の交代は、同性同士に限ります。

(5) エントリーの変更について

参加者に変更が生じた場合は、事前にお届けしている「エントリー変更届」に記載して、代表者会議終了後速やかに提出してください。

(6) ゼッケン及び監督・キャプテンのマークについて

- ①ゼッケンは、基準の番号を着用してください。ただし、番号貼り付けのユニフォームを使用しているチームについては、そのままの使用を認めますので、試合コートにおいて男女の管理をしてください。
- ②監督は、監督マークを付けてください。
- ③チームキャプテンは、キャプテンマーク付けてください。

(7) 試合球について

- ①試合球は、(公財)日本バレーボール協会制定のソフトバレーボール(ゴム製、重さ 200～220g、円周 77～79cm)を使用します。
- ②試合球は、モルテン社製を使用します。  
(開催要項でモルテン社製と案内した為。次年度よりミカサ・モルテン両社へ訂正します。)

(8) 競技記録について

- ①試合はランニング記録法により審判担当チームの記録員が記録してください。記録のできない人は、試合の対戦スコアを必ず記録してください。記録結果にはチームキャプテンのサインを採録して提出してください。
- ②競技の結果及び成績は、アリーナ内の掲示板で発表します。
- ③参加チームへの報告は、後日各チームに送付します。

(9) 練習会場

- ①開会式前のアリーナでの練習を認めます。
- ②開会式終了後は、第1試合該当チームの試合開始前のコート使用を認めます。
- ③第2試合以降は、試合をするコートでのプロトコール開始までの練習を認めます。

(10) チームの表示について

- ①チームプレートを準備しましたので開閉会式では、列の先頭に置いてください。
- ②大会期間中は、チームプレートをチームで保管してください。
- ③試合中は、チームプレートを得点表示板に掲示してください。
- ④2日目にすべての競技が終了したら、チームプレートを一旦本部席に返してください。
- ⑤大会終了後は、記念にお持ち帰りください。

(11) 体育館の開館時間及び使用上の留意点について

- ①第2日目 開始時刻 8時00分 受付 8時30分～9時00分
- ②体育館の使用にあたっては、次の事項を守ってください。
  - イ) 上履き、下履きの履き替えを必ず守ってください。
  - ロ) 選手控え場所は、2階観覧席とします。
  - ハ) アリーナでの飲食はできません。(除く、水分補給用飲料水)

## 2. 審判上の確認

### (1) 競技規則

- ①本大会は、(公財)日本バレーボール協会制定の本年度ソフトバレーボール競技規則及び本大会開催要項を準用します。
- ②プロトコール(試合前、試合後の手順)については、次のとおりとします。
  - イ)キャプテンによるトスは、前試合終了後、次試合チーム集合次第直ちに行いますが、試合が連続する場合は、適当な休憩を挟んで開始します。
  - ロ)公式練習は、合同での3分程度とします。短縮することも認めます。
  - ハ)試合開始時の挨拶は、エンドラインでの挨拶とします。  
試合終了後も、交代競技者も含め、全員がエンドラインに整列し、エンドラインでの挨拶を交わしてください。
  - ニ)試合時間を40分確保していますので、進行管理を適時修正してください。
- ③審判上の取扱いについては、次のことを特に注意してください。
  - イ)特別ルールとして、コート内ではフリーポジション制とします。従って、サイドアウトの時には、ローテーションをしなくても反則とはなりません。また、従来通りローテーションしながら競技しても反則ではありません。
  - ロ)フリーポジション制で競技をします。試合開始前にはサーブ順を記入したサービスオーダー用紙をセットごとに提出してください。ラインアップシート(目玉票)の提出は必要ありません。
  - ハ)プレー上の反則では、アウトオブポジションは適用しません。
  - ニ)オーバーネットの反則は、適正に判定してください。
  - ホ)プレー中、隣接するコートにボールが入った場合及び選手が侵入した場合は、ボールアウトとしてください。
  - ヘ)ミラクルゴールドの部及びウルトラゴールドの部での選手交代は、フリー(交代回数の制限はなし)とします。
- ④負傷等による例外的な選手交代は、次の通り取り扱います。
  - イ)負傷等によりプレーが続行出来ない場合は、まず正規の選手交代を行います。
  - ロ)正規の選手交代が出来ない場合は、ベンチの交代選手と例外的な交代をしてください。ただし、ウルトラゴールドの部は性別を問いません。スーパーゴールドの部はコートに女性が入っていれば異性同士の交代を認めます。ハイゴールドの部及びゴールドの部は同性者とだけに限定されますが、男性負傷時には女性との交代を認めます。
  - ハ)例外的な選手交代で退いた選手は、その試合が終了するまで再度コートに戻ることは出来ません。
  - ニ)選手が4人のチームは、正規の交代も例外的な選手交代もできませんので、負傷等の場合は、3分間のタイム・アウトとし、回復しない場合はセットの失格となります。ただし、次のセット開始までに回復すれば次のセットを行うことができます。

### (2) 審判

- ①審判は、相互審判制とします。
- ②主審・副審・記録員・線審・点示員は各チームが担当してください。
- ③審判員が不足する場合は、本部まで申し出てください。できる範囲で役員がお手伝いします。

### 3. 連絡事項

#### (1) 開会式及び表彰式・閉会式について

- ①開会式 ; 11月14日(木) 12時30分から
- ②彰式及び閉会式 ; 11月15日(金) 13時30分頃の予定
- ③場 所 ; ゼオンアリーナ周南・メインアリーナ
- ④整 列 ; コの字型で本部席に向かって、右手から近畿東海・四国・中国から整列し、次に九州方面の整列、最後に山口県とします。  
グループ(チームごと)全体で整列します。チームプレートを置きます。

#### (2) 懇親会、宿泊、昼食、輸送について

- ①宿 泊 ; 市内のホテル(ホテルサンルート徳山、ホテルルートイン徳山駅前、東横イン徳山駅新幹線口、東横イン徳山駅北口)での宿泊となります。
- ②懇親会 ; i) 第1会場～「ホテルサンルート宴会場」・19時00分～21時00分  
会場へは徒歩でお願いします。
- ⑤昼 食 ; i) 11月14日(木)・15日(金)ともに注文者に弁当を準備いたします。  
ii) 弁当はチームごとに受付にて必要個数を受け取ってください。  
iii) 食事の場所は、館内1階のロビーか2階観覧席にてお願いします。  
iv) 食事後の容器は、空箱を重ね一番上の容器にごみ類を集めてレジ袋に入れて受取り場所まで持参してください。(分別収集にご協力をお願いします。)
- ⑥ ホテル駐車代 ; 各チームの自己負担とさせていただきます。  
(出来る限り乗り合わせでお願いいたします)

#### (3) 参加記念品等について

特別賞は、生涯現役ウルトラ大賞(15年連続参加者)、生涯現役大賞(10年連続参加者)、生涯現役賞(5回目)、最高齢チーム賞、最高齢者賞、遠来賞を準備いたします。  
このうち最高齢者賞は80歳及び80歳以上の方で初めての方といたします。

#### (4) 駐車場について～体育館周辺の駐車場をご利用ください。

#### (5) 貴重品の管理について～貴重品は、チームで管理してください。

#### (6) 健康管理について～試合に参加されるに当たっては、各人で準備運動を十分行ってください。2日目(11月15日・金)は、競技終了後にシャワーの利用ができます。(無料)

#### (7) コーヒーコーナーを設置しますのでご利用ください。1杯100円

お召し上がり場所は、コーナー付近のテーブル席が利用できます。

#### (8) ショップエリアでは、ファイテンが2日間、コンベンション協会土産店が2日目に来店しますので、ご利用ください。